

「東日本大震災からの復興を担う専門人材育成支援事業」実績報告書

1. 事業の概要

(1)事業名(全角30字以内)

被災地医科医療従事者にニーズの高い医療クラーク育成事業

(2)メニュー・分野

	メニュー	分野
	(1) 専修学校等における中長期的な人材育成コースの ① 開発・実証	
○	(1) 専修学校等における短期専門人材育成コースの開 ② 設・実証	医療事務
	(2) 専修学校等における就職支援体制の充実強化	—

「その他」分野名

(4)事業実施期間

平成24年8月15日～平成25年3月15日

(5)事業の概要

震災直後には各地から救援医師の派遣等が活発に行われていたが、現在は地域医療の自立的再生に軸足が移行してきている段階にあり、医師、看護師等医療従事者の負担が拡大する一方となっている。本事業では、昨年度受託実施した当該事業において開発した教材を用い、岩手県沿岸部を中心として県内に居住する住民に対し、高品質で安定的に医療を提供するために、医師の代わりに電子カルテの代行入力や医師事務文書の作成を補助的に行う医療クラーク(医師事務作業補助者)の育成を行い、地域医療の再生に貢献する。昨年の受講者からの要望、担当講師からの知見を踏まえ、基礎的な知識についてもより深く学び、検定合格を目指す(1)「医師事務作業補助者」検定受験講座、および、現在すでに医科医療従事者で医師事務作業補助に関するより高度な知識・技術習得を目指す(2)医師事務作業補助者キャリアアップ講座をそれぞれ開講することとした。なお、(2)に関しては、電子カルテ講座および関連文書作成講座の二つを開講することとした。

2. 文部科学省との連絡担当者

省略

3. 事業内容の説明

(1)事業の目的(全角500字以上)

東日本大震災により被災した沿岸部では、患者様のカルテが大量に流失したり、泥をかぶるなどし利用不能となる事態が広範囲にわたり生じた。また、電子カルテのサーバー室が津波にのまれ、システムダウンした結果、通常の運営に大きな障害が発生したケースもあった。このような状況の中、記録紙としてのカルテのデメリットや病院単体の電子カルテシステムの欠点について各地で検証が行われ、クラウドを利用した電子カルテシステムの導入や診療情報の共有化のニーズが高まっている。

一方で、このようなネットワーク化した医療システム導入については、医師の負担が重くなることもあり、医師の代わりに医師が行わなければならない事務作業を代行して行う医療クラークに対する人材ニーズが高まっている。本事業では、医師の代わりに電子カルテの代行入力業務をこなすことができ、かつ各種診断書などの医療文書も作成することができる医療クラークの人材を育成し、被災地はもちろんのこと各所に避難している住民の方々に、安定的に高品質な医療を提供するための環境づくりに貢献することを目的とする。

具体的には、昨年度実施した当該事業における受講者、および講師の感想・知見をふまえ、受講希望者の職種やキャリアにあわせたコースの設定を行うこととした。一つは、医師事務作業補助者としての経験がない、もしくは日が浅い方に対して、検定合格を踏まえ基礎的な知識を習得する講座(「医師事務作業補助者」検定受験講座)を開講し、今後医療分野で活躍していける人材を養成する。いまひとつは、すでに医師事務作業補助者として業務に従事している方を対象とし、電子カルテおよび関連文書作成のより高度な知識・技術習得を目指す講座(医師事務作業補助者キャリアアップ講座)を開講することで、高度な知識やスキルを要請される現場に対応できる人材の育成を目指す。

(2)教育プログラム・教材の開発内容等

なし。

(3)地域の人材ニーズの状況、事業の必要性等

岩手県内では、被災地を中心とした各種医療機関が甚大な被害を被り、医療機関の再建、医師不足の解消は、現在も重要な課題となっている。本校は、被災地における医師の代わりに診療記録や診断書類作成の代行できる人材を供給し、さらなる医師の流出を防ぐと共に支援のために被災地に来ている医師の負担軽減を図るためにも早急に医療クラーク(医師事務作業補助者)を育成することは地域医療の再建に必要不可欠であると考えている。

(4)実証講座等の内容

a)「医師事務作業補助者」検定受験講座

- ①医師事務作業補助者の基礎的知識を学び、検定合格を目指した。
- ②受講者:39名(岩手県の沿岸被災地を中心に県内全域で募集した)
- ③講座開催地:本校にて開催(なお、受講者に関しては、諸事情による通学困難も想定されたため大船渡市、釜石市からの巡回バスによる通学支援を行った)
- ④講座時間数:6時間×5日間+5時間×1日間(計35時間)
- ⑤開講時期:平成24年12月23日・24日、平成25年1月5日・6日・12日・13日 計6日間
- ⑥講師:本校教員および東京からの派遣講師(伊藤典子氏、柄沢 清氏)

b)医師事務作業補助者キャリアアップ講座Ⅰ

- ①医師事務作業補助者経験者を対象に、電子カルテに関するさらなる知識を習得、キャリアアップを目指した。
- ②受講者:9名(岩手県の沿岸被災地を中心に県内全域で募集)
- ③講座開催地:本校にて開催(なお、受講者に関しては、諸事情による通学困難も想定されたため陸前高田市、釜石市、宮古市からの巡回バスによる通学支援を行った)
- ④講座時間数:6時間×1日間+7時間×1日間(計13時間)
- ⑤開講時期:平成24年10月7日・8日
- ⑥講師:東京からの派遣講師(伊藤典子氏、柄沢 清氏)

c)医師事務作業補助者キャリアアップ講座Ⅱ

- ①医師事務作業補助者経験者を対象に、関連文書作成に関するさらなる知識を習得、キャリアアップを目指した。
- ②受講者:7名
- ③講座開催地、④講座時間数、⑤開講時期、⑥講師、は上記同様

d)教員研修

- ①医師事務作業補助者に必要とされる科目を、通常の本校カリキュラムにおいて担当している教員を対象に、検定受験合格を目指した指導ができるよう研修を行い、短期間で受講生が効率よく知識・スキルの習得ができるようチームティーチングを行う能力を身につけることを目的とした。
- ②受講者:本校教員3名
- ③研修開催地:東京都中央区日本橋人形町1-12-11 リガーレ日本橋人形町2F
- ④講座時間数:6時間×2日間(計12時間)
- ⑤実施時期:9月15日・16日
- ⑥講師:東京在住の派遣講師(伊藤典子氏、柄沢 清氏)

(5)成果の普及・平成25年度以降の事業展開の予定(自校・他校・企業・団体・地域との関係)

■成果報告会の実施

医療クラーク(医師事務作業補助者)の育成は、震災からの復旧・復興のためにはもちろんのこと、今後の岩手県内における医療体制の包括的な整備という意味からも、重要なことと考える。従って、本事業で行った取組実績は、市町村および県内に設置されている医療機関等に広く知っていただく必要があり、そのため、成果報告会を開催した。

開催日時:2014年2月22日(金) 14時~15時30分
場 所:盛岡医療福祉専門学校1号館 図書閲覧室
出席者 :12名

■インターネットによる成果の普及

本事業の成果報告は、インターネットのホームページを作成して行うこととする。なお、コンテンツは、事業計画、実績公開等を掲載する。

4. 事業のスケジュール

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
協議会			○			○					
教員研修会				○							
講座				●→			●→				
成果発表会									○		

5. 事業実施体制

(1) 推進協議会の構成

組織名	代表者	役割等	都道府県
岩手県薬剤師会	畑澤 博巳 様	情報収集・提供	岩手県
池田外科・消化器内科医院	池田 健一郎 様	情報収集・提供	岩手県
株式会社 システムエイド	中舘 勝寿 様	情報収集・提供	岩手県
株式会社NIメディカルオフィス	伊藤 典子 様	情報収集・提供	東京都
ケアアンドコミュニケーション株式会社	柄沢 清 様	情報収集・提供	東京都
岩手県保健福祉部医療推進課地域医療推進室	千葉 幸也 様	情報収集・提供	岩手県
釜石市保健福祉部健康推進課	古川 至言 様	情報収集・提供	岩手県
盛岡商工会議所	泉沢 力 様	情報収集・提供	岩手県
郡山情報ビジネス専門学校	小林 一雄 様	情報収集・提供	福島県
郡山情報ビジネス専門学校	岡崎 史紹 様	情報収集・提供	福島県
盛岡医療福祉専門学校	児玉 義輝	代表	岩手県
盛岡医療福祉専門学校	菊池 裕生	副代表	岩手県
盛岡医療福祉専門学校	佐々木 純子	情報収集・書記	岩手県

(2) 分科会の構成(設置は任意)

分科会は設置しない。

(3) 事業実施協力専修学校・企業・団体等

組織名	代表者	役割等	都道府県
岩手県薬剤師会	畑澤 博巳 様	情報収集・提供	岩手県
池田外科・消化器内科医院	池田 健一郎 様	情報収集・提供	岩手県
株式会社 システムエイド	中舘 勝寿 様	情報収集・提供	岩手県
株式会社NIメディカルオフィス	伊藤 典子 様	情報収集・提供、講師	東京都
ケアアンドコミュニケーション株式会社	柄沢 清 様	情報収集・提供、講師	東京都
岩手県保健福祉部医療推進課地域医療推進室	千葉 幸也 様	情報収集・提供	岩手県
釜石市保健福祉部健康推進課	古川 至言 様	情報収集・提供	岩手県
郡山情報ビジネス専門学校	小林 一雄 様	情報収集・提供	福島県
郡山情報ビジネス専門学校	岡崎 史紹 様	情報収集・提供	福島県
盛岡商工会議所	泉沢 力 様	情報収集・提供	岩手県
盛岡医療福祉専門学校	児玉 義輝	代表	岩手県
盛岡医療福祉専門学校	菊池 裕生	副代表	岩手県
盛岡医療福祉専門学校	佐々木 純子	情報収集・書記	岩手県
盛岡医療福祉専門学校	竹花 美奈子	講師・事務局	岩手県
盛岡医療福祉専門学校	鈴木 綾	講師	岩手県

(4)事業の推進体制(図示)

